



くぬぎ通信



2016年6月発行 第310号
市原第7団BS隊 隊長 小西章夫

2016年6月度テーマ ; 強くなる方法

強くなる方法

インドで一人のスカウトが、あの危険なコレラにかかって病院に寝ていた。医者は、付き添いの召使いに、足を温め体を絶えず摩擦して、血行をよくすれば彼の命を助けられるかもしれないといった。

医者がそこを離れると、すぐに召使いは摩擦するのをやめ、しゃがみこんでゆっくりと煙草を吸い始めた。

かわいそうな患者は、口がきけなかったが、そこでのやりとりはすべてわかっていたので、付き添いのやり方に憤慨し、彼の見せしめのためにも、必ず治ってみせるとその場で決心した。治る決心をしたら、彼は実際に治った。

スカウトの格言に「死んでしまうまでは死ぬというな」というものがある。この言葉どおりに行動すれば、万事がまずいほうに行っているように見えるときでも、逆境から抜け出すことができる。それは、勇気と忍耐と強さの混ざったもので、私たちは耐久力という。

B-P「SCOUTING FOR BOYS」
キャンプファイア物語17 強くなる方法 から

先日、ボーイスカウトのモットー そなえよつねに についてお話を伺いました。我々は何にそなえたらよいのでしょうか。

スカウティングの4本柱である「人格」「技能」「健康」「奉仕」の全てにそなえる、のではなく、全てをそなえることが大切ですよということです。

スカウトは何事に対しても何時でも必ずやり通すという準備を常にしているという意味である。だから、スカウトはいつも心にも身体にもまた技にも隙のない様、どんなことにもでも応じることができる心構えを持って、「さあ来い、準備はできている」ということを意味する。そのため、スカウト技能はどんなことにもでも役立つよう準備のために練習するのである。応急処置法、救急法などの訓練も自身を常に準備済みの状態におけるようにするためのものである。そして又将来社会に出て、よき公民としての準備の整った人物足るためにスカウト教育を身につけるのである。「ボーイスカウトポケットブック」から引用

強く「そなわった」よりよき社会人を育成しましょう。

スカウト諸君へ

7月の活動予定・

- テーマ ; 野外の生活
- 活動目標 ; 自ら考え判断し決断する力を養う
- プログラム ; 野営技術
- ソング ; 煙はまうよ

日時	場所	集会	内容	備考
7月3日	野営場袖ヶ浦	班集会	サイクリング	
7月3日19-2	国分寺公民館	GB会議	20MCC計画ほか	20MCC
7月9日15:15	アネッサ	-	健康診断	
7月16-18日	寺谷分校跡地	隊集会	2泊キャンプ	20MCC



班集会 ~サイクリング~

梅雨の合間の晴天。バッファロー班諸君は銀輪の愛車を駆って、サイクリング！袖ヶ浦市博物館へ向けて出発しました。途中、源頼朝が打倒平家に向けて拳兵して走ったと伝わる古道 鎌倉街道も走ります。

♪どこまでも行こう 道はきびしくとも
口笛を吹きながら 走ってゆこう
(6月の歌『どこまでもゆこう』から)

新野営場・駐車場 開拓開始

これまで野営場の駐車場として借用させていただいた土地を地主である大成建設さんに返却することになりました。代わりに500mほど西側の土地を利用させていただける事になりました。まずは、駐車場を確保すべく、竹藪になった土地を開拓し始めています。当面毎週土曜日の午前中に開拓作業を行います。多くの手が必要です。多くの皆様のご協力をお願いします。まずは、駐車場を確保し、その後は野営場まで含めて全面移設する計画です。

